

## 都心・三宮再整備 ～人が主役の居心地の良いまちを目指して～

### 1. はじめに

神戸市では、市民一人ひとりが安全安心で心豊かに幸せを実感できる「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策に取り組んでおり、未来に輝く神戸の街を創るための取組や安全な都市基盤の構築を推進しています。

### 2. 都心・三宮再整備の概要

神戸の都心には、三宮をはじめ、旧居留地、北野、元町など、神戸らしい魅力的な拠点がモザイク状に広がっています。都心・三宮再整備では官民が連携し、それぞれの拠点の更なる魅力向上を図るとともに、都心内の回遊性を向上させる施策に取り組み、駅周辺だけでなく都心全体の活性化を目指しています。

三宮駅周辺では、分散している中・長距離バスの乗降場を集約する西日本最大級のバスターミナルを含む再開発ビルやJR三ノ宮新駅ビル、駅前の幹線道路上を人と公共交通優先の空間とする「三宮クロススクエア」の整備を予定しています。

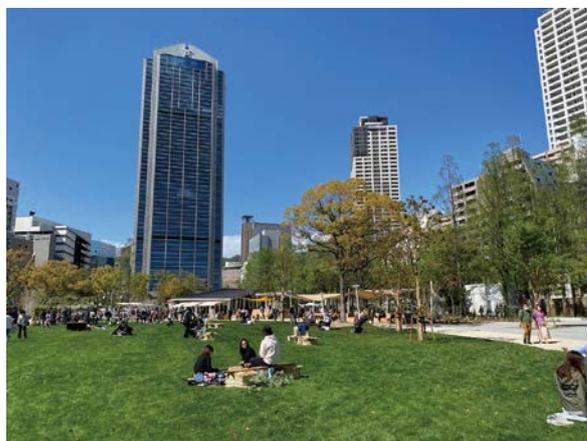
三宮駅とウォーターフロントをつなぐ税関線沿道に位置する市役所本庁舎2号館や都市公園である東遊園地では、新たに「にぎわい機能」を導入するなど、都心の活性化や回遊の拠点となるよう、本格的な再整備に取り組んでいます。都心・三宮再整備では、沿道の建築物と一体となった広く豊かな屋外空間とウォークアブルな空間のネットワークを形成することにより、にぎわいを創出するとともに、密を避けながら安心して駅から周辺エリ

アへ回遊していただける「人が主役の居心地の良いまち」を創出する取組を進めてまいります。

### 3. 東遊園地のリニューアル

東遊園地は都心における貴重な緑のオープンスペースとして、日頃から市民の憩いや散策、レクリエーション等で利用されている他、「神戸ルミナリエ」、「阪神淡路大震災1.17のつどい」等のイベント会場としても利用されています。都心・三宮再整備にあわせて、回遊性向上の拠点としてさらなる日常的なにぎわいや利活用の創出を図るため、2021年10月より再整備工事を進め、2023年4月7日に北側エリアとにぎわい拠点施設（URBAN PICNIC）をリニューアルオープンしました。

広大な芝生広場をはじめ、カフェレストランや屋外図書館、レンタルスペースなど、日ごろから市民に親しまれる公園になっています。



東遊園地



神戸市長 久元 喜造

#### 4. 三宮クロススクエア

三宮駅前には、もともと人のための滞留空間が少なく、さらには、駅とまちが幹線道路で分断されているといった課題があります。一方で神戸の玄関口として非常に重要な駅前空間である中央幹線は、都心に用事のない通過交通が約半数を占めています。

そこで三宮交差点を中心に、税関線と中央幹線の一部を「三宮クロススクエア」として、駅周辺へのアクセス機能に配慮しつつ、その大切な空間を車中心から人中心に転換し、周辺の建築物と一体となって、神戸の玄関口にふさわしい象徴となる広場的空間を創出していくことを計画しています。

「三宮クロススクエア」の実現に向けては、必要な交通対策を実施し、交通状況を見据えながら段階的に三宮交差点の東側から整備を進めていくこととしており、第一段階として、2029年のJR三ノ宮新駅ビルの開業に合わせ、車道を最大10車線から6車線まで減少させ、歩行者空間を拡幅する計画としています。



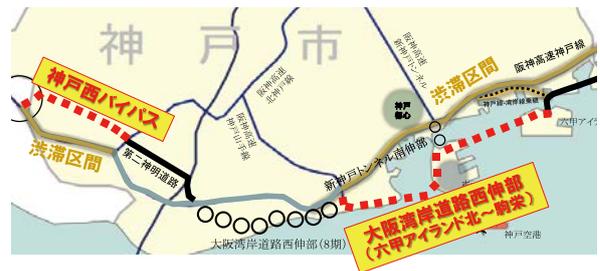
三宮クロススクエア（第1段階）東側イメージ

#### 5. 道路ネットワークの整備

東西高速道路ネットワークのミッシングリンクとなっている大阪湾岸道路西伸部は、3号神戸線の渋滞の緩和、神戸港の物流機能強化、関西三空港の連携強化など、神戸さらには関西全体の経済発展の原動力になると期待されています。

加えて、都心の通過交通を減少させる役割も持っており、「三宮クロススクエア」の第二段階として、中央幹線の車道を最大6車線から3車線まで減少させる計画を実現するためには、大阪湾岸道路西伸部が不可欠です。

その他にも、広域道路ネットワークの構築を推進しており、神戸西バイパスの推進など、ミッシングリンクの解消に努めています。



東西高速道路ネットワーク

#### 6. おわりに

本年11月には神戸市において、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が開催されます。同講習会の現場研修会では、先ほどご紹介しました、完成した東遊園地や大阪湾岸道路西伸部の現場をご覧いただけますので、多数の皆様のご来神をお待ちしております。